

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490
FAX (078) 361-4539
http://nkk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

2013年 2月 顕現節

神の栄光の顕現

～み言葉が実現する時～

この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した。

(ルカ4:21)

司祭 ミカエル 小南 晃

今、私たちは顕現節を迎えています。「顕現」という言葉は、余り馴染みがありませんが、ギリシア語の語源からすると、神が突如天空に現れるような、劇的な出現を意味することです。顕現節は、イエスの内に神の栄光を認めて、私たちの信仰を確かにする時と言えます。

語りかけられたみ言葉

今年C年の顕現節第3主日の旧約日課は、ネヘミア記8:2以下の祭司エズラによる律法朗読でした。紀元前5世紀後半、バビロン捕囚から解放されてエルサレムに帰還したイスラエルの民に対して、モーセの律法の書が、夜明けから正午まで読み上げられ、民はそれを立って聞いたことが記されています。

少し引用しますと、「彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した…民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた(8:9)」。人々が長時間立ったままでも、聖書のみ言葉と解説に聞き入り、感涙にむせぶ様子が記されています。

またこの主日の福音書はルカ4:16以下でしたが、そこにはイエスが安息日に郷里ナザレの会堂に入って聖書を朗読し、そのみ言葉について人々に語ったことが記されています。

「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである(4:18-19)」と、イエスが巻物を渡され、イザヤ書61:1以下にあたる箇所を朗読し、席につかれた。すると「会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた(4:21)」とあります。人々がイエスの口から出るみ言葉の説き明かしを、固唾を飲んで待っている様子が伺えます。

み言葉への熱い思い

こうした人々のみ言葉に対する熱い思いについて考える時、一つは彼らが「救い」に飢えているということがあります。祭司エズラの前にいた人々は、捕囚からは解放されたものの、荒廃したエルサレムの都の再建には前途多難な道が待ちました。そしてイエスの時代、ローマ帝国の支配のもとで、ユダヤの人々は救い主、メシアがイスラエルの国を建て直して下さるのを待ちわびていました。彼らは自分たちの「救い」をみ言葉にかけていたのです。

同じような、み言葉、また説教、メッセージに対する人々の熱い思い

が、半世紀前、米国で人種差別に反対して公民権運動を展開したキング牧師のドキュメント映像などにも見ることが出来ます。

その一つに、1963年8月のワシントン大行進の最後に、キング牧師がリンカーン記念堂の階段から、25万人と言われる参加者に語りかけた、「わたしには夢がある」というメッセージがあります。「正義が洪水のように流れ、神の義が大河のごとく尽きることなく流れるようになるまで」とアモス書などのみ言葉を引用しながら、「私には夢がある・・・かつての奴隷の子孫とかつての奴隷主の子孫が、兄弟愛のテーブルに仲良く座ることができるようになる夢が」と語りかけ、人々は「そうだ!」と、怒涛のような歓声をあげながら聞いたのでした。

実現するみ言葉

今年、そのメッセージから丁度、50年目です。当時は「白人専用」の表示が至るところにあった米国において、今、アフリカ系米国人の大統領が実現しています。

イエスはナザレの会堂で、ご自分に目を注いでいる人々に「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と宣言されました。私たちはみ言葉が実現する時、「神は生きておられる」と神の栄光の一端を確かに感じ取ることが出来る筈です。

しかしそのためには、まずはみ言葉を信じ、そこに自分の「救い」、「希望」をかける、熱い信仰が必要です。

この顕現節に今一度、私たちにもそうした信仰を増して頂くようにと、共に祈り求めたいと思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)